

大学自己評価部会だより

第27号 (平成24年5月)

■教育研究目標

九州歯科大学は、質の高い教養教育と専門教育を学生に提供し、患者さん中心の医療を実践できる人材を育成します。この基本的な理念の実現に向けて、以下のような教育・研究を行っています。

- (1) 新たな時代に対応できる柔軟な判断力と問題の自己解決能力を有する創造的医療人を育成する。
- (2) 歯科保健医療を通じて社会に貢献する医療人を育成する。
- (3) 高度な専門性を有する歯科医療人を育成し、高度先進医療の拠点病院としての機能を強化する。
- (4) 歯科医学を支える研究を推進するとともに、地域社会と連携した研究を展開する。
- (5) 国際社会に貢献できる人材の育成と交換留学生の受け入れを促進し、アジア太平洋地域の歯科教育研究機関との連携を強化する。

アンケートの調査結果を報告します

歯学部学生を対象とした奨学制度の認知度、アルバイトの状況、大学の学習支援の満足度等を平成18～22年度の各年度で比較しました。

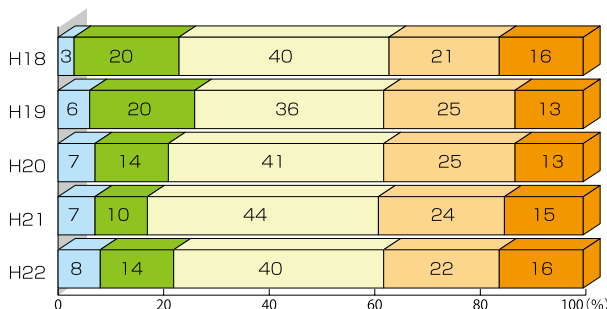
① 奨学制度の認知度、アルバイトの現状



歯学部学生において奨学制度の認知度にはあまり変化はありません。

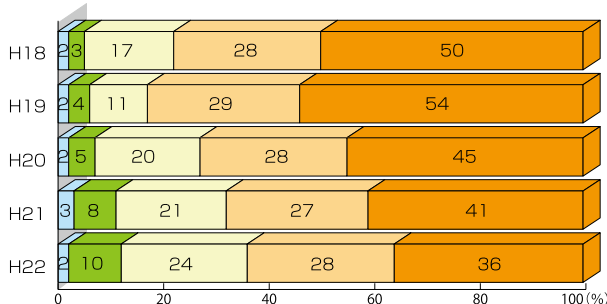
アルバイトを「これからしたい」と思っている学生は増えていますが、実際にアルバイトをしている学生は年々減少しています。一方、アルバイトを「全くしよと思わない」学生の割合も漸増しています。

本学で取り扱っている奨学制度を知っていますか



よく知っている
一部知っている
聞いたことがある
全く知らない
知る必要がない

本学に入学してアルバイトをしていますか。
あるいはこれからしたいと考えていますか



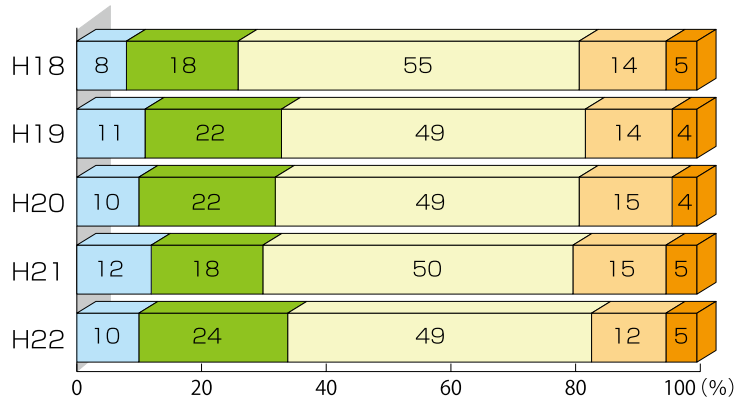
現在している
過去にしていた
これからしたい
全くしよと思わない
その他

② 学習支援、学習環境の満足度

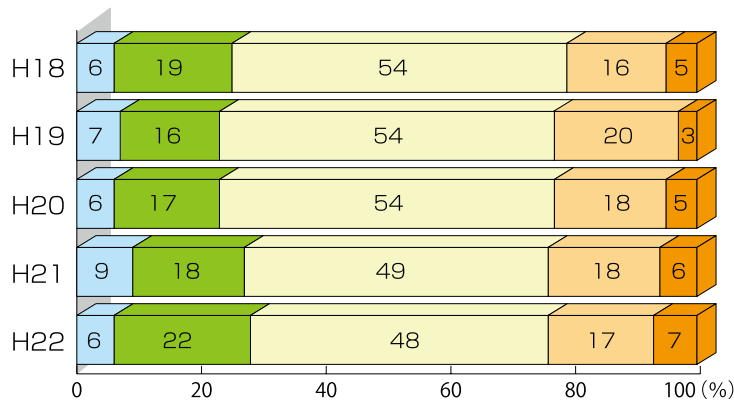
本学の教育(講義・実習)に対する満足度では、満足度が「低い」または「少し低い」学生は合わせて1割程度(大学自己評価部会だより23号参照)でした。

しかし、大学全体の学習支援および学習環境への満足度では、「低い」または「少し低い」学生の割合が3割程度となっています。

大学全体の
学習支援の
満足度



大学全体の
学習環境の
満足度



③ 学習相談・助言

本学の学習相談や助言が適切に行われていると「思わない」または「どちらかというと思わない」学生は、22年度では38%となっています。今後、改善していかなくてはなりません。

総合的に判断して本学の
学習相談や助言などは
適切に行われている
と思いますか

